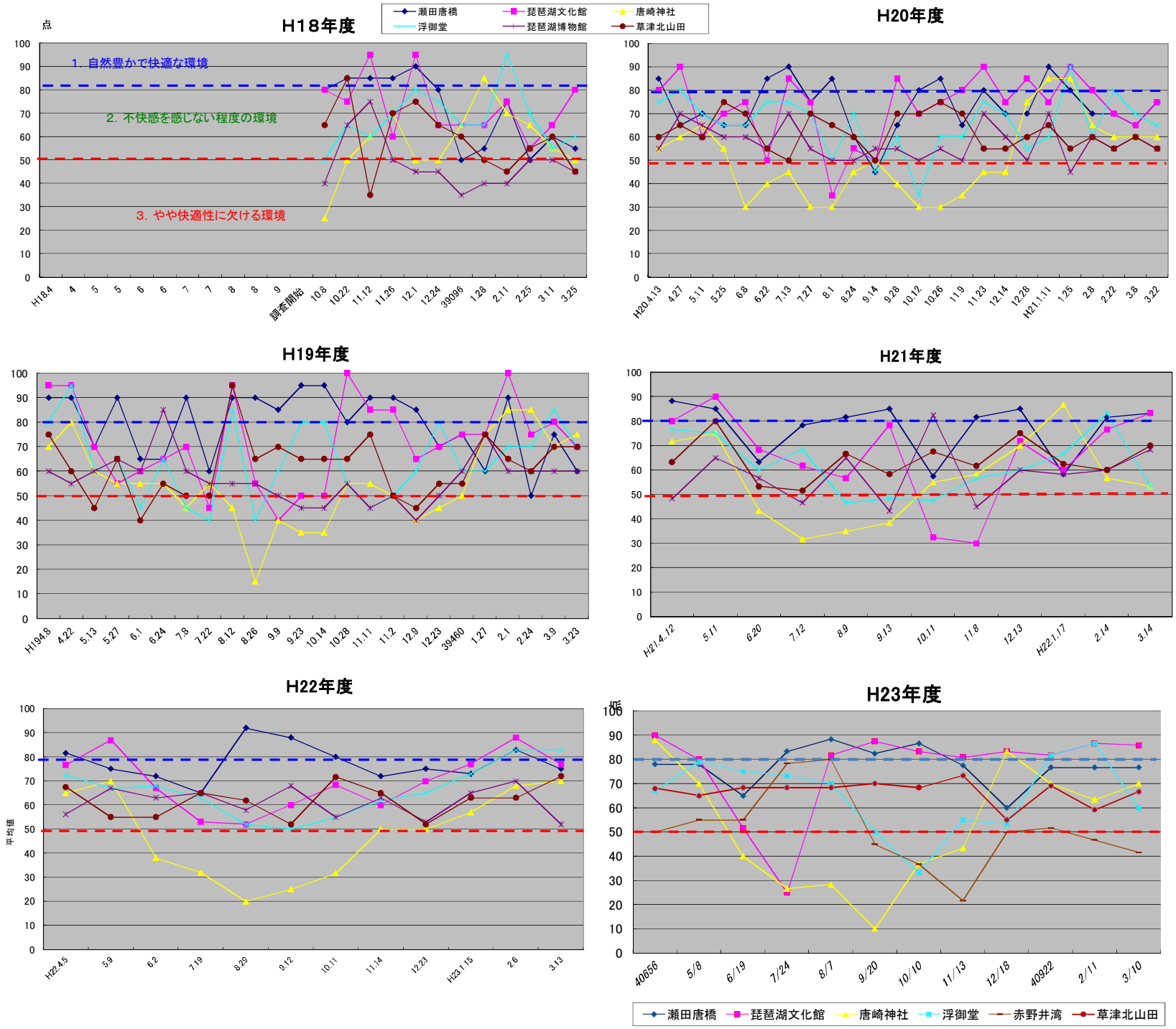図―10　各調査地点における年度ごとの感覚調査結果の径月変化（平成18～23年度）